

命の大切さを伝える

廣瀬 章宏

昨年、私たち日本動物愛護協会では『かがやけいのち！みらいちゃん』（今西乃子 著 / ひろみちいと 絵 / 岩崎書店）を協会推薦図書として全国の教育委員会、私立の小学校・中学校、約2,600カ所へ献本を行いました。

併せて全国の希望する小学校・中学校等へ著者の今西乃子氏を講師として「命の授業」を行っています。

この物語は一頭の傷つけられた犬のお話ですが、決して動物愛護を押し付けるものではなく、「命を傷つけるのも人間」「命を救うのも人間」であって、行動次第でどちらの人間にもなることがあるということを教えてください。読後には動物だけではなく弱い立場のものを傷つけてはいけない、と感じてもらえると思います。

動物を好きな人、苦手な人、それぞれ子供たちの感情は違います。そんな様々な感情がある中で、お互いのことを思いやり「救う側」「守る側」の人に育ち、人にも動物にも優しい世の中が形成されていくのではないかと考えます。

私は、幼少期より動物、昆虫などが大好きで、印象深かった本、皆様に読んでいただきたい本をいくつか紹介させていただきます。

『クワガタクワジ物語』（中島みち 著 / 筑摩書房・偕成社文庫）ずいぶん昔の本ですが、私は夏になると誰よりも早く起きて近所のクヌギ林にクワガタを取りに行くのが大好きでした。この物語は私のようにクワガタが大好きな少年が、クワガタの飼育を通して様々なことを学んでいくお話です。現在のようなインターネット社会ではなく、飼育方法も確立されていない中、試行錯誤しながら小さなクワガタに愛情を注いで大切に育てます。現在の飼育方法とは違う部分もありますが、子供たちに小さな命へ愛情を注ぐ大切さが伝わることと思います。

『なまえのないねこ』（竹下文子 文 / 町田尚子 絵 / 小峰書店）絵本になりますが、ある外で暮らす猫のお話です。いろいろな猫にそれぞれの名前が付いています。外で暮らす猫には名前がありません。名前がほしいと思う猫ですが…

お話の最後にはこの猫が本当に欲しかった物がわかります。印象的な絵と猫の目線でストーリーが進んでいき、心が温くなる絵本です。読み聞かせなどにも良いのではないのでしょうか、子供たちに読んでもらい、または読み聞かせにより、この猫が求めているものを知って、優しさや、温かさを感じてもらいたいと思います。

『氷の海を追ってきたクロ』（井上こみち 著 / ミヤハラヨウコ 絵 / 学研プラス）平和であることが当たり前になっている日本ですが、今から約80年前は第二次世界大戦の真っただ中にありました。終戦になっても日本に帰ることができず、シベリアで過酷な労働を強いられた人々もいます。そんな人たちの心の支えとなり、つらい労働の中、皆に安らぎと笑顔を与えてくれたのはクロという名の一頭の犬でした。いよいよ日本に帰国するというときに、動物は船に乗せることはできません。しかしクロは冷たい氷の海に飛び込みます…

戦争では多くの人も傷つきます。そして動物たちも犠牲になります。いまでも世界のどこかで戦争や紛争、内戦が起きています。このような実際にあった物語に触れることで、戦争の悲劇や悲惨さを学び二度と同じ過ちは繰り返してはいけないと考えてほしいと思います。

動物のことを書いた本はたくさんあります。その一部を今回は紹介させていただきましたが、この他にもたくさん感動する本があり、ノンフィクションの物も多く、感情移入しやすく、自分だったらどう行動をとったろう？など思いを巡らせることが多々ありました。子供たちも多くの本に触れて手に取って読んでもらい、人にも動物にも優しい人に育ってほしいと思います。（ひろせ あきひろ：公益財団法人日本動物愛護協会常任理事・事務局長）

学校図書館の今、これから

～ ICT の活用と読む力の育成～

安田美穂子

会見小学校がある鳥取県南部町は、環境省によって生物多様性の保全上重要な「里地里山」に町全体が指定されている全国でも数少ない町である。富有柿や二十世紀梨の産地であり、近くにはゲンジボタルの生息地もある。本校の児童は総合的な学習の時間において、こういった地域の宝について調べ、発信していく活動を毎年行っている。児童数は163人。一つの学年を除いて1クラスの単学級規模の学校である。

さて、ここ1、2年で学校や教育を取り巻く状況は急速に変化してきた。言うまでもなくGIGAスクール構想による、1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークの整備によるものである。これからの学校はこういった環境を生かしつつ、主体的かつ個別最適化された学びの場となっていくことが求められるだろう。ではこれからの学校図書館、学校司書はどうあるべきか？ まずは今まで本校で行ってきた活動を三つの機能に沿っていくつかあげてみたい。

読書センターとして

小学校の国語の教科書には、各学年に必ず「読書や本に関わる単元」が設定されているため、自分の読書生活を振り返ることができるよう、読んだ本を「よむよむ読書の記録」に書き留めるようにしている。内容は、低学年は書名と著者名、中学年は分類と一言感想が加わる、といった具合に学年によって書き留める内容を変え、記録を1枚書き終わるごとに、その中で一番おすすめの本についてコメントを書いてもらい、本と共に掲示もしている。また、図書館で100冊借りた児童を「100さつ名人」として、認定証を渡す取り組みも行なっている。これは単なる多読推奨ではなく、1年間で100冊読むことを目標に、自分のペースで読み進める励

みになればと行なっているものである。

学習センターとして

学校図書館法に「学校図書館は教育課程に寄与する」とあるように、図書館は学校の全ての活動に関わるが、まずは授業支援が中心になると考える。効果的に支援を進めていくため、司書教諭が中心となって年間指導計画等を整備し、学校経営ファイルに載せると共に該当学年に配布している。年間指導計画については、高学年・中学年・低学年の3種類を作成し、読書に関する単元、情報活用能力育成に関わる単元を色分けし、一目でわかるようにした。また、図書館関わった活動を写真入りで紹介したものを、図書館に近い渡り廊下に掲示している。これは下学年への意欲づけや先生方の授業の参考になるように行っているものである。

情報センターとして

情報活用能力の育成のための取り組みの一つとして、本校では情報カードを活用している。情報カードは集めた情報を整理するためのもので、書式を中学校と共通にしている。これは中学校に進学後も同じ環境で使うことができるようにとの配慮からである。また、「調べて知ること」に親しむ活動として、図書館で毎日1問、百科事典（ポプラディア）を引くと答えがわかる問題を出題し、10問正解するごとに「ポプラディアマスター認定証」を渡している。毎日のように問題を解き、獲得した認定証が30枚を超えた児童もいる。

GIGAスクール時代に ～変わるもの、変わらないもの～

今、GIGAスクール構想を巡って、学校図書館も変化が求められている。学校図書館のDX化、

というテーマが各研修会などでも多く取り上げられており、学校司書の間でも話題の中心は学校図書館のGIGA スクール対応についてである。

本校ではこの1年、デジタルツールを使って図書館と児童を繋ぐということを意識してきた。取り組みの内容として大きく分けると二つあるが、一つはカーリル「学校図書館支援プログラム」の活用である。学校図書館に蔵書管理システムは導入されていたが、館内に開放OPACなどはなく、児童が自分で検索することは出来なかった。プログラム導入によって、児童は自分の端末から自校の蔵書を検索できるようになった。

もう一つはGoogle Workspace for Educationの各ツールの活用である。Googleドキュメントを利用したデジタルパスファインダーの作成、Google フォームを活用したアンケートや本の予約受け付けなど、図書館でも使える場面は多くある。これらをGoogle サイトで作成した図書館のホームページに載せることで、図書館が持つ情報を一元化することができた。ホームページには、学習に役立つサイトのリンク集やジャムボードによる思考ツール、情報の探し方をまとめたスライドなども載せ、児童と教員のアカウントでアクセスできるように限定公開している。



また今年度は、図書委員会主催のオンライン配信によるミニビブリオバトル大会を開催することができた。児童集会の時間を利用して全学級に配信し、児童は各教室のモニターで視聴。投票はGoogle フォームで行なった。図書委員会ではこのほか、おすすめ本の紹介をGoogle スライドで作成し、図書館内に置いたモニターでスライドショーにして流した。さらには前出の地域の宝を取り上げた学習で、同じようにホタルの生息地である県外の小学校とGoogle

Meetを使って取り組みの成果を発表し合った。

このようにICTを活用することで様々な可能性が広がっている一方、課題も感じている。情報の取り扱いについて度々伝えてきたはずだが、ICTを活用して出来上がってきた成果物を見ると、何が情報源かわからない作品が散見される。著作権の問題を含め、デジタル情報リテラシーの育成については、これから学校図書館が中心になって進めていく必要があるだろう。学習センター・情報センターとしての役割はますます大きくなってきている。

一方、今までと変わらず取り組んでいくべきこともある。それは「読む力の育成」である。近頃、「どんな本を選んでいいのかわからない」という児童が増えているように感じる。これは、学年に応じた「読む力」が身に付いていないということではないか。今後ますます探究的な活動が増えてくる中、批判的に読み解くスキルが必要になってくると考えられるが、そのためにはまず文章を読んで理解することができなければならない。結局、巡り巡って根幹は読みの力だと思い知らされているところである。もちろん情報を手に入れる方法は文字に限らない。動画や画像という方法が有効な場合もある。しかし情報を得て思考するには、自分の中で言語化しなければならないし、その力をつけるには文章に触れるしかないと考える。語彙の獲得においても同様である。そのためには様々な本に触れることができる環境を整え、本を手取るきっかけづくりに加えて、一人一人にぴったりの本を見極め、手渡していくことがますます重要になってくる。その本をどう選ぶのか。デジタルツールの活用もそうだが、学校司書もスキルアップが求められている。一人で学んでいくのは難しいが、幸いオンラインで学習できる機会も増え、繋がることのできる仲間が全国にいる。子どもたちだけでなく、大人も多くの人と繋がり、学び続けていければと思っている。(やすだ みほこ：鳥取県南部町立会見小学校司書)

本の中に流れている美しい時間

佐溝 美和子

現場を去って早や2年が経とうとしていますが、小学校図書館に15年勤務していました。臨時職員の立場で複数校兼務です。

いずれの学校も学校図書館司書教諭が配置されていなかったため、職名は学校司書ですが、自ずと、図書館経営や図書館利用指導だけでなく図書授業の計画や実施にも携わる形となっていました。

昔話・神話・世界名作・世界の民話・図鑑・百科事典・国語辞典・漢和辞典・戦争文学・古典・歴史・詩歌・落語・科学絵本・シートンやファープルの科学物語・ノンフィクション・新聞・年鑑・日本地理・世界地理・外国語・料理・栄養・伝統工芸や食品加工等々教科書で扱うテーマの調べ学習、教科書掲載作品の作家の読み広げ、果ては方言・数詞・敬語のレッスン・箸の扱いかた・二十四節気七十二候から座右の銘まで、様々なテーマを、図書館にある資料を使った授業として取り扱い、児童文学の本だけではない図書館の本の奥行きを体験してもらった授業を用意していました。

特別支援学級の授業では「自立」にかかわってくる内容も視野に入れて、塗り絵や絵かき歌の本、かるたやボードゲームなどを用いることもありました。

ありがたいことに、図書の授業を楽しみにしてやってきて、顔を輝かせて教室へ戻ってゆく子どもたちを見送ることのできた日々でした。

話す・書く活動も多く取り入れましたが、やはりなんといっても、絵本や物語の読み聞かせは、高い頻度で取り入れていました。

低学年で、毛色が変わったところでは、友情・誘拐・親からの自立と家族愛など複雑なテーマが扱われているルース・エインズワースの

「ふゆのものがたり」（福音館書店）は、真剣に聞き入る姿が印象的だった作品です。

中学年では、絵本として刊行されているものも含めて安房直子の童話をいくつも聞いてもらっていました。ファンタジーでありながら、安房作品には、人生と仕事とのかかわりの深さを感じさせるものが多く、キャリア教育へと緩やかにつながっていく要素を持っています。子どもが「働く」経験をリアルに感じにくい時代にあって、あとがきにて、真面目に働いて生きている人たちが損をするような社会を見過ごせないことが創作の原動力になっていることをつぶやいておられた安房さんの、作品中ににじみ出るその思いが子どもを揺さぶるのでしょう。

高学年では、「十五少年漂流記」を何カ月もかけて連ドラのように、朝の時間などを利用して朗読していました。途中で数回「自分なら、現時点で誰を大統領に選ぶか」という投票をします。だいたい、毎回選出されるキャラクターが違っていたことが、子どもたちがいかに物語に没頭しているかを表していたように思います。他に、「海底二万マイル」や「飛ぶ教室」も、よく朗読で聞いて楽しんでもらった作品です。

また、借りかえ時の本選びの助けになればと、おすすめリストを整えていました。昔話等を含む「日本の名作」、グリムやアンデルセンから推理小説まで網羅した「世界の名作」、詩歌や言葉遊びなどが入った「うつくしい日本語」、科学絵本のほか地歴分野等も含む「ちしきの本」、主に過去の課題図書・指定図書などからピックアップした「現代の名作」、この5つのベスト100リストを作成し「読んだよチェック」ができる欄を設け、子どもの個

人ファイルに綴じていました。

学校現場は、「効率化」という謳い文句で、本来数値化しにくいことを数値化するための、その後活用することはないような文書の作成や確認に時間を取られる「非効率」な状態が常習化していて、担任の先生がたは目の回るような忙しさです。待っていても、授業の打ち合わせができる時間は確保できません。「この本を使ったこんな授業はどうですか?」「この時期なら、こんなことができますが」と学校司書の側からどんどん提案していくようにしていました。

私は、学校教育を通して大人が子どもに手渡したい内容をうんと端的に3行くらいでまとめると「この世で生きていくのは簡単でないということを知ること。けれども世界は美しく、かつ同じ時に行く人たちがたくさんいて、だれかの助けを受けたりだれかを助けたりする喜びが待っているということを知ること」に尽きると考えています。

本の中に流れている美しい時間は、それらをつかまえる役割を果たしてくれると信じています。(絵本専門士・絵本カフェ店主：さみぞみわこ → <https://ehoncafe.com/>)

DMかたるぐ

ミキハウスの 全37巻 宮沢賢治絵本シリーズ

40p~112p/1,650円~2,530円(税込)

かの今江祥智氏から「白眉である」と称され、多くの画家の絵筆を動かした！
賢治作品との出会いを創り出す話題のシリーズ。



三起商行株式会社 〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1
東京流通センターアネックス4階
TEL03-6262-7280 FAX 03-6262-7281
miki house

アマゾン川

熱帯雨林・生命の源

サンダマ・フランシス文
ロモロ・ディポリト 絵
ゆらしようこ 訳

大自然の宝庫アマゾン川が、地球の未来を支える！
多様な生物、人々の暮らしから自然保護まで、アマゾン川の全体像に迫る一冊。

【解説】関野吉晴(探検家)

小学校中高学年~
★定価3080円(税込)

詳細はこちら→



徳間書店 〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1目黒セントラルスクエア
TEL.049-293-5521(受注センター) <https://www.tokuma.jp/kodomonohon/>

世界 迫力のパノラマ・ワイド! 調べ学習に!

時空の歴史大図鑑



時空のラインをたどって、人類の歴史と文明を探索し未来を考えよう!

【監修】青柳正規



前半は時系列に、後半はテーマ別に構成。音楽、文学、スポーツ、科学、戦争ほか。

定価3190円

ISBN978-4-86706-036-0



好評既刊

世界魔法道具の大図鑑

定価3080円

ISBN978-4-86706-008-7

西村書店

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-4-6
☎03-3239-7671 Fax.03-3239-7622 (税込価格)



みちねこサイト

学校司書のみちねこが運営している学校図書館情報のプラットフォームです。月に一回配信している「みちねこラジオ」の番組情報と、月一回開催している非正規の学校司書の話

を聞く「みちねこサロン」の情報を掲載しています。

社会教育士として行っている子どもの居場所に本を置く活動も紹介していきます。サイトは常に更新しています。ぜひ、チェックしてください。



みちねこサイトみちねこサイトみちねこサイトみちねこサイトみちねこサイト

学校がもっと好きになるシリーズ
SNS 総フォロワー数 14 万
元小学校教師 usao 先生 初の絵本!



子どもたちへの眼差しが SNS で多くの共感を呼んでいる、元小学校教師の usao 先生による初の絵本。楽しみもあるけれど、不安や緊張もいっぱいの子供の生活。ランドセルからひょっこり顔を出したウサギの妖精うさおが、小学校に通い始めたばかりの「ねえ、おしえて?」にこたえます。

株式会社東洋館出版社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目9番1号
 コンフォール安田ビル2階
 TEL: 03-6778-7278 / FAX: 03-5281-8092

みんなでゴスペル!

山本愛・編著 A4判 80頁 定価2,640円(税込)
 子どもたちと著者の長年のゴスペル体験から生まれた、
日本ではじめてのゴスペルの教科書!



ゴスペルの基本から歌い方、歴史、曲ごとのポイント、楽譜まで…。ゴスペルの基本的なことを学べるテキストです。音源は、歌い方のお手本、ピアノ伴奏のみの2種類が入ったCDを付属。(YouTubeでも同じものが聴けます) テキストと音源を利用して誰でもすぐ教えられます! 録音技術のなかった古い時代にアフリカの人たちにより耳から耳、口から口へと歌い継がれてきたシンプルで力強く、覚えやすい8曲を収録。伴奏は小学生でもバイエル終了レベルなら練習して弾けるアレンジ。学校や、サークル、お家でも!



朔北社

〒191-0041 東京都日野市南平 5-28-1-1F
 Tel. 042-506-5350 <http://www.sakuhoakusha.co.jp>

ルールやマナーを守らぬものは「鉄」にあらず!

マナーを守って楽しく極める! すずき出版 **正しい鉄ちゃん道**

全3巻 揃定価税込9,900円(各巻税込3,300円)A4判・各47頁

①撮り鉄②乗り鉄③駅鉄 ISBN978-4-7902-3406-7

山崎友也 著 「鉄」の道を知り、正しく歩むことをめざしたセット。ルールやマナーを厳しく指導。



〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3-1岩波書店アネックスビル5F
 TEL03-6272-8003 FAX03-6272-8016 <http://www.suzuki-syuppan.co.jp/>

科学漫画いきもの観察シリーズ

朝日新聞出版

ドクターエッグ

いきものについて楽しく学べる! 既5巻

かわいいイラストで、生物のことが学べる科学漫画いきもの観察シリーズ。「いきもの大好き!」なエッグ博士、ヤン博士、ウン博士の3人が、いきもの魅力と生態を楽しく伝えます。



文:バク・ソノイ/絵:洪鐘賢/揃定価6,600円(揃本体6,000円+税10%)
 NDC480/B5変型判/平均154頁/ISBN 978-4-02-332084-0

株式会社 三善

2023年度 英語名作ライブラリー

エリック・カールの大きな絵本セット
世界の名作絵本セット (A~F)
英語版 ヨシタケシンスケの発想えほん
タトル出版 英語で読む日本昔話



〒167-0032 東京都杉並区天沼2-2-3
 TEL: 03-3398-9163 FAX: 03-3398-9170

SDGsをさらに深く知り、
 考えるためにおすすめの書籍

渡邊 優 著

SDGs辞典

SDGsの17の目標および169個のターゲットにつかわれている用語を徹底解説。

英語対訳付「SDGsが生まれるまで」

など有益なコラムも!

英語教育にもおすすめの一冊。



A5判美装カバー218頁 2750円

ミネルヴァ書房

京都市山科区日ノ岡堤谷町 1
 TEL075-581-0296 ※価格税込